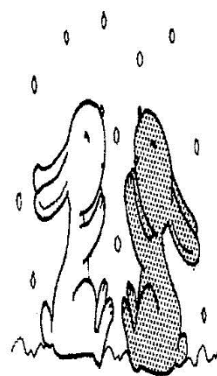


東中国キリスト者

障害を共に学び共に担う会

シャローム



第一六〇号

第35回総会特集号

二〇二三年十二月二十二日発行

目次

説教……………	岡山教会牧師	廣田和浩	(1)
総会報告……………		難波幸矢	(3)
証し……………		浜副 薫	(6)
会計報告……………		宮脇俊昭	(7)
編集後記……………		難波幸矢	(8)

説教

日本キリスト教団

岡山教会牧師 廣田和浩

「『らしさ』から解放されて生きる」

マルコによる福音書一〇章一七節〜二三節

世の中では、「何々らしさ」とい

う言葉がしばしば使用されます。例

えば「キリスト者らしさ」というよ

うに使われるものです。このように

使われる時、模範とされるべき自明

のあるべき姿が想定されています。

そして、そのあるべき姿は、そこに

属していると考えられるものに対し

て、「何々らしく」行動するように

迫ってきます。さきほどの例でいえ

ば「キリスト者らしく」生きなければ

ならないといったようにです。ま

た、「自分らしさ」というものがあ

って、「自分らしく」ありたいとい
うのも同じことです。

でも、常にあるべき姿に縛られて、

考え行動しなければならぬという

うのは、実に苦しいものではないで

しょうか。それに、そもそも「何々

らしさ」というあるべき姿は、思い

込まされている、幻影にすぎないか

もしれないのです。

イエスさまに教えを乞いにきた一

人の人がいました。この人は、「善

い先生、永遠の命を受け継ぐには、

何をすればよいでしょうか。」とイ

エスさまにひざまずいて尋ねていま

す。これに対してイエスさまは、モ

ーセの十戒を引用して、「『殺すな、

姦淫するな、盗むな、偽証するな、

奪い取るな、父母を敬え』という掟

をあなたは知っているはずだ。」と

言われました。このようにイエスさ

まは、モーセの十戒のうち、六つの

戒めを挙げられました。このうち「奪

「取るな」とあるのは、かなりまとめられていて、十戒では「隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」（出エジプト記20章17節）と書かれています。興味深いことに、マルコによる福音書一〇章一七節〜二二節と同じような話が書かれているとされているマタイによる福音書一九章一六節〜三〇節とルカによる福音書一八章一八節〜三〇節では、「奪い取るな」という内容は、律法の教えを守っている人でも、さらに守ることが難しいということなのかもしれません。

しかし、教えを乞いに来た人は「先生、そういうことはみな、子供の時から守ってきました」と言い切っています。子供の時からというわけですから、親がしっかりと教え、一緒

に実践していたということでしょう。もちろん、何のために掟を守るのか、すなわち永遠の命を受け継ぐためだということも十分に学んでいたことでしょう。それにもかかわらず、この人はイエスに「何をすればよいのでしょうか」と問うているのです。

おそらく、この人の中には、「永遠の命を受け継ぐ者らしさ」があつて、子供の時から「永遠の命を受け継ぐ者らしく」、掟を守り生きてきたのでしよう。しかし、あるべき姿に達しているという充足感が得られることはなく、そのような徒労感から、これまで守ってきたことを今後でも継続していくことに苦痛を感じ始めていたのかもしれない。そこで、この人はイエスさまの評判を聞いて、イエスさまだったら教えてくださるに違いないと思い、切実な思いで、教えを乞いに来たと考えられます。

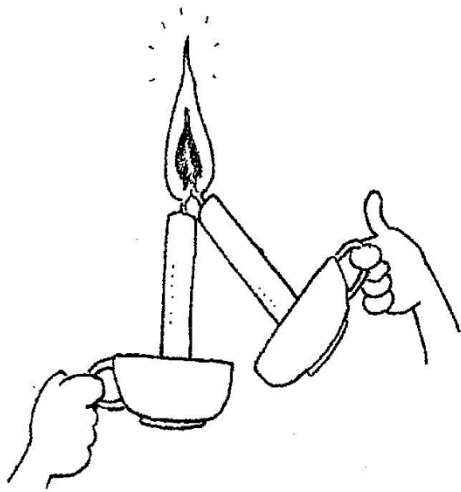
イエスさまは、「彼を見つめ、慈しんで」話されていますので、この人の誠実な思いをしっかりと受け止め、答えておられます。イエスさまは「あなたに欠けているものが一つある。行つて持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。」

それから、わたしに従いなさい。」と言われたのです。このイエスさまの言葉に、たくさんの財産を持つていたこの人は反論することなく、気を落とし、悲しみながら立ち去っています。私は、この態度から、教えを乞いに来た人は、実は、問いへの答えとして、自分でもイエスさまの言葉と同じ考えを持つていたのではないだろうかと推察します。つまり、この人にとって、永遠の命を受け継ぐために今なすべきことは、持っている物を売り払って、貧しい人々に施すということだったのです。

そのことがわかっていただけれども、この人は実行することができませんでした。それは、財産を持っているということが、「永遠の命を受け継ぐ者らしさ」と深く結びついていたからです。イエスさまの弟子たちも、イエスさまの「財産のある者が神の国に入るのは、なんと難しいことか。」という言葉聞いて驚いているほどです。この人は、掟を守らなければならぬことに縛られ、たくさんの財産を守らなければならぬことに縛られて、幼い時から生きてきたのでした。残念ながら、そこには喜びがありませんでした。

ただし、希望が持てるのは、この人は、「永遠の命を受け継ぐ者らしさ」としてのたくさんの財産を持っているということに、疑問を感じ始めていたところ、イエスさまの指摘があったということです。家に帰って、イエスさまの言葉や、これまで

自分が考えてきたことを思い返したことでしよう。この人のその後のことについては聖書に書かれていませんのでわかりませんが、イエスさまが「わたしに従いなさい」と招かれているのですから、その言葉に導かれていったと信じたいのです。



総会報告

難波幸矢

本来なら3の「久しぶりにお会いした方々とおしゃべりの時」は10数名の方々が参加されるので、それぞれの方々の近況報告や最近考えていることや、キ障共で取り上げてもらいたいテーマ等が話し合われたのですが、なんと今年の総会参加者は役員を除いては、礼拝出席者が2人3の「ひさしぶりに……」まで残られたのがお一人となつては何を話す?という感じだったので、せつかく残って下さったのでともかく開きました。

●佐々木 岡山朝禱会というのに属しています。曜日が月曜日だったので火曜日に代わりました。会場が禁酒会館3

階だったのが日本基督教団の岡山教会に代わりました。禁酒会館の3階に歩いて上がるのが難しいというメンバーが増えてきたことが理由の一つにあります。先週火曜日(11月21日)難波さんに来てもらってキ障共の出発の事について話してもらいました。生(ナマ)の証がすごかったです。

●清水 私は障害者手帳は1級です。高速道路も半額です。でも外見は分からない(心臓)のですが、私に通っていた岡山信愛教会の牧師は足が悪かったです。信愛の階段、大変だったろうと思いますし、今だったら何か考えていただろうと思うのです。脇本牧師が教区議長の時、教区三役で

信愛にいらっしやったことがありました。脇本牧師も足が悪かった。やはり気が付かなかった。

話は飛びますが、歴史のあるあの倉敷教会。坂になっているがシンボルですよ。

●宮脇 まあ坂にはなっているけれどエレベーターがありませんからね。

●何か今年は講演会とか修養会とか、コロナも明けたことですし、岡トモ子さんの遺金もあるので、遠くからでも講師を招けるので、ぜひ講演会は開きたいと思っています。どなたか講師の候補がありますか。

●北海道から向谷地生良さんをお招きするのもいいかもですね。この方の視点は本当に大事ですからね。キ障共の役員会の読書会では「精神障害と教会」を輪読と討論をしていたことでした。九州の奥田知志牧師も沢山の示唆を与えてくれると思いますね。

●今日の礼拝でも感じたのですが、岩田美穂さんのパイプオルガンの演奏会というのもいいですね。一度じっくりお聞きしたい！

●色々良い意見が出てきましたね。

●本日の献金ですが、総会挨拶

拶の所でも触れましたが、パレスチナ子どもキャンペーンの方へ送つてもいいでしょうか。送金はするけれど果たして本当にそこに送られるのかという心配がなければかりか、着実に今一番困っているガザの子どもたちの所へ送られると思えますので、そうさせて頂きます。

● 清水さん、体力が大丈夫なら4月から月に手術をされます。どうか祈って下さい。

● 全国キ障協の廣田守男会長も体力の衰えを感じていらつしやるとの事。透析後とてもしんどくなったり、透析中に血圧が下がったり、今までにない事が起こって

いる。祈ってほしいとのこと
です。みなさまどうぞ祈り
あいましょうねー！

● 難波の不手際でせつかく倉敷教会の宮脇俊明さん、強力なスケツトが役員になって下さったのに、「2023年度役員は以下の方々でした」の所への記載漏れをしてしまいました。加えて礼拝司会を難波と書いたまま印刷してしまいました。宮脇さんでした。まことに誠に申し訳ありませんでした。こんなヌケヌケの会長ですがよろしくよろしくお願いいたします。



國谷さん、ありがとう

浜副 薫

「証し」

天の父なる神さま、日本キリスト教団米子教会で1995年10月20日國谷正子は「神様の子供として」洗礼式を加藤先生、田村先生に受け、教会の兄弟姉妹の一人に加えて頂きました。洗礼式で讚美歌199番を「生まれかわりし喜びは」と、今も讚美したことを思い出します。毎週教会の姉妹に送り迎えして頂き、礼拝を守ることが出来ました。

私の信仰生活も色々な家庭内のこと、自分の身体の衰える苦しさ、神様に祈っても、祈っても、なかなかとどかない、そんな私を今思うと神様はいつも守り支えて頂きました。

洗礼式の時、教会の姉妹からお祝いに聖書を頂きました。聖書の裏に、「ふたりが言った、主イエスを信じなさい、そうしたら、あなたも、あなたの家族も救われます。」（使徒行伝16章31節）

この頃、このみ言葉を信じて感謝しています。 2013年9月19日 國谷正子

※記念誌の証に阿部姉の証と一緒にまとめて書いて欲しいと浜副が預かっていました。



國谷さんは5歳の頃、脊椎カリエスに罹り、下半身麻痺になり、闘病の毎日でした。両親に愛されて育たれ、明るくまっすぐな性格で、聡明な方でした。

安達二葉姉に米子教会に導かれ、婦人会などに積極的に参加され、良い交わりの時を持ちました。毎年「日めくりカレンダー」をめくりながら、「今日も、今年も守られて過ごせた。」と喜びあいました。

老化により、脊椎の変形や内臓機能の低下等で、毎日が痛みとの闘いでした。ここ数年、呼吸機能の低下が著しく、人口呼吸が必要となり、礼拝出席も出来なくなりました。

苦しい中で、インターネットを駆使し、み言葉を求め、神様に感謝されていました。米子教会の礼拝もLINEで守られました。特に蕃山町教会の説教を毎週、楽しみに聴いておられ、國谷さんの心の慰め、靈的な支えとなっていました。國谷さんは米子教会のこと、家族のことをいつも心にかけておられ、二人で短いお祈りを捧げていました。「天国で会おうね。」とよく話していました。

2023年5月1日、自宅で天に召されました（77歳）。米子教会での葬儀を通して、國谷さんの希望どおり神様が家族に和解をもたらして下さいました。

会 計 報 告

2023年9月～2023年10月

会計 宮脇俊昭

収 入		支 出	
会費(39口) (会費累計56口)	78,000 (126,000)	シャローム	5,350
		交通費 発送作業(9/28)	2,080
		会場費 発送作業(9/28)	2,000
		備品等 封筒代	1,270
賛助会員会費 (賛助会員会費 計2口)	5,000 (8,000)	会議費	4,280
		交通費 役員会(9/8)	2,280
		会場費 役員会(9/8)	2,000
献金(5口)	73,000	鳥取支部総会 交通費(7/16)	9,860
		事務手数料 通知、払い込み手数料(4口)	685
郵貯受取利息	1		
小 計	156,001	小 計	20,175
前 月 より	741,739	次 月 へ	877,565
合 計	897,739	合 計	897,740

〔会費・献金の納入を、感謝申し上げます。〕

個別の領収証を希望される方は、遠慮なくお申し出ください。従来通り送付いたします。よろしく願いいたします。

(敬称略・順不同)

(年会費)

日キ博愛会教会 清水洋美

日キ玉島教会 遠藤ゆり子、三宅日奈子

日キ倉敷水島教会 ナルドの会(賛助会員)、谷野健、谷野順子、宮田博子、
武文千恵子、渡辺文子、山口真知子、小松原昭子

日キ岡山教会 板野昇子、今城信子、蔵知武、佐々木まゆみ、富田茉莉子、
橋本まり子、畑起三郎、浜井昭代、堀恭次・幾美、望月英子
山口明・弘子、尾島夫規子

日キ旭東教会 宇野稔、脇本泰・光代、成木書子、那須清美

日キ湖山教会 久野芳枝、伊井尚子、岡田由美子、岩佐洋子、多岐地久恵、
前田恵、前田美喜子、諸家香代子、森田生子、山内英子、
森下久美子

岡山神召キリスト教会 佐々木祐二

日キ倉敷教会 三木美智子

(献金)

難波幸矢、佐々木祐二、遠藤ゆり子、三宅日奈子、三木美智子

以上

10月末現在資金残高	
定額預金	500,000
普通預金	213,359
振替口座	113,552
現金	50,654
合 計	877,565

編集後記

難波幸夫

愛するキ障共会員の皆様いかがお過ごしですか。天気予報では、暖かいと寒いと2日ごとに繰り返し返されているように言っています。とにかく変な気候です。

変と言えば、びっくりびっくりでした。なんと総会の出席者が役員を除いたら2人。しかも礼拝後の話し合いのほうまで残って下さったのは佐々木寛治さんお一人ーせっかく残って下さって礼拝堂から4階まで上がって下さっているのだし、予定どおり「おしゃべりの時」を持ちました。

そもそも佐々木さんが残って下さったのは、佐々木さんが属していらつしやる岡山朝拝会が11月21日(火)9時半からの祈禱会の講師として難波を呼んでくださり、キ障共を発会させるに至った証をさせて頂いたところからの久しぶりの再会もあって、残って下さったかと思えます。

35回を節目に「初心に戻って」ではないですが、キ障共の今後について話し合おうと

いう時にえっ？もうやめろってか？と不信仰な私難波はへこんでしまいました。

でも総会報告を読んで下さったら分かりますが、役員会は誠実に一生懸命キ障共の事を考え元気に歩んでいます。今年度も一人一人が神様に守られて、愛されて生かされていることを覚えつつ生きるようにと歩みを整えさせられています。

総会挨拶でも書きましたが、今年度は4年ぶりに講演会を開きたいと考えています。先の話し合いの中でも出ましたが、講師を北海道の向谷地生良さん、九州の奥田知志牧師のお名前も既に出ています。皆さんの中でお聞きしたい講師がいらつしやったら教えて下さい。

それにしても今年は目に見える形での(テレビによる爆撃の生々しい状況のくりかえし)争いの年になってしまいました。ウクライナの状況が薄れるほどイスラエルによるガザの状況の恐ろしさー子どもたち、女性たちの叫び、両手を挙げて悲しみを訴える人々に対する私たちの無力さ。でも考えを

止めないで私たちに何が出来るかを考える者でありたいと思っています。

例年のように12月のシャロームは最後に「皆様 良い年を」と言うてきましたが、そうは言えない気分年末です。本当に「祈らねば」と思う日々です。私は特にパレスチナの子どもたちのために祈ります。お互いに祈りあいましょう。

新しい年の再会を祈りつつ。

「シャローム」 第一六〇号

発行日 二〇二三年十二月二十二日

発行所 東中国キリスト者

障害を共に学び共に担う会

発行人 事務局長 難波幸夫

〒七〇三ー八二六五

岡山市中区倉田六五八ー八一

電話 〇八六・二七六・二四六七

振替 〇二三一〇・〇・九〇七六九

加入者 「東中国キ障共」